

専門実践教育訓練明示書

講座の名称	健康社会システム研究科健康福祉専攻博士課程前期2年の課程NP養成分野				
実施方法	①(通学)(昼間)・夜間・(土日) ② 通信スクーリング(回数回)				
指定講座番号(15桁)	0412008	—	2610011	—	1
講座の創設年月日	専門実践教育訓練給付金 対象講座の指定期間	過去一年の講座実績	入講者数(人)	修了者数(人)	
2003年4月1日	2029年3月31日まで	24ヶ月	総訓練時間	575時間	

1. 教育訓練目標

①取得目標とする資格の名称、目標レベル	<input type="checkbox"/> 業務独占資格・名称独占資格()
	<input type="checkbox"/> 職業実践専門課程()
	<input type="checkbox"/> キャリア形成促進プログラム()
	<input type="checkbox"/> 専門職大学院()
	<input checked="" type="checkbox"/> 職業実践力育成プログラム(保健福祉)
	<input type="checkbox"/> 情報通信技術関係資格()
	<input type="checkbox"/> 第四次産業革命スキル習得講座()
	<input type="checkbox"/> 専門職大学、専門職短期大学、専門職学科()
教育訓練を通じて取得を目指す上記以外の資格等	
日本NP資格認定試験(日本NP教育大学院協議会)受験資格、	
東北文化学園大学大学院健康社会システム研究科 日本NP教育大学院協議会	
②①に係る資格・試験等の実施機関名称	
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等	本行為2年以上在籍し、卒業単位を満たした上で卒業を認定されること(見込みを含む)。
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されておいる業界と活用状況	医療業界(病院、クリニック、訪問看護ステーション等)

2. 教育訓練の内容

教科(カリキュラム)	時間	使用教材名
現代医療看護学特論	30.5	
現代地域医療総合講義	37.5	
臨床生理学	23.5	生理学テキスト第7版
外科医療病態診断学特論	61.5	生理学テキスト第7版
内科学総合講義	56	
麻酔・救急・集中医療総合講義	48	標準救急医学・標準麻酔科学
フィジカルアセスメント	37.5	内科診断学
臨床薬理学	40.5	カッティング薬理学エッセンシャル原書12版
外科治療学総合講義Ⅰ	39	標準外科学
外科治療学総合講義Ⅱ	58.5	標準外科学
ライフサイクル医療	36	
健康福祉特別研究	64	
外科治療学特別実習	15	標準外科学
麻酔・救急・集中医療総合実習	25.5	標準救急医学・標準麻酔科学

3. 受講者となるための要件(この講座を受講するために必要とされている条件など)

①受講するに当たって必要な実務経験等	日本の看護師国家資格を有し、入学前の3月31日現在で、看護師としての実務経験が5年以上の者
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準	大学を卒業した者及び卒業見込みの者。なお、その他状況等において事前出願資格審査を行う場合がある。
③その他	

[特記事項]

--

専門実践教育訓練明示書

4. 教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況

(1) 資格取得状況

① 前年度の修了者数	人			
② ①に係る教育訓練の入講者数	人			
③ ②のうち目標資格の受験者数	人	受験率(③/②)		%
④ ③のうち合格者数	人	合格率(④/③)		%
⑤ ①(修了者数)のうち就職者数 ※1	人			
⑥ ①(修了者数)のうち在職者数 ※2	人	就職・在職率(⑤+⑥/②)		%

※1 前年度の修了者のうち、受講開始時に職に就いていなかった者で修了後に就職した者。

この場合、就職したとは、臨時の仕事に就職した者は含めない。

※2 受講開始時に既に職に就いていた者で、卒業後も引き続きその職にある者及び受講開始時に既に職に就いている者で、修了後に別の職に転職した者。

(2) 受講修了者による講座の評価等

① 回答者総数	人			
② 受講開始時の就業状況等	人	②A: 就業者計		
1 正社員	人			
2 非正社員、派遣社員	人			
3 その他の就業(自営業等)	人			
4 非就業	人	②B: 非就業者計		
③ 受講開始前と現在の就業先の変化	人	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下)		
1 受講開始時の就業先と現在の就業先は同じ	人			
2 受講開始時の就業先と現在の就業先(自営業等含む)は異なる(転職)	人			
3 受講開始時は就業していたが、現在は就業していない	人			
④ 受講後の就業形態	人	④A: 就業者計		
1 正社員	人			
2 非正社員、派遣社員	人			
3 その他の就業(自営業等)	人			
4 非就業者	人	④B: 非就業者計		
⑤ 受講後の賃金変化	人	⑤の回答数合計 ※④Aと同数(又はそれ以下)		
1 3割以上増加した	人			
2 1割以上3割未満増加した	人			
3 1割未満増加した	人			
4 変わらない	人			
5 1割未満減少した	人			
6 1割以上3割未満減少した	人			
7 3割以上減少した	人			
⑥ 講座の受講の効果	人	⑥の回答数合計		
1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ	人			
2 配置転換等により希望の業務に従事できる	人			
3 社内外の評価が高まる	人			
4 早期に転職・再就職できる	人			
5 希望の職種・業界に転職・再就職できる	人			
6 より良い条件(賃金等)で転職・再就職できる	人			
7 趣味・教養に役立つ	人			
8 その他の効果	人			
9 特に効果はない	人			
⑦ 受講開始時に就業していなかった受講者の就業状況	人	⑦の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)		
1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した	人			
2 受講修了後3~6か月以内に就職した	人			
3 受講修了後6~12か月以内に就職した	人			
4 就職していない	人			
⑧ 講座の全体評価	人	⑧の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下)		
1 大変満足	人			
2 おおむね満足	人			
3 どちらとも言えない	人			
4 やや不満	人			
5 大いに不満	人			

(3) 受講者、受給者の修了後の状況(就職等の状況、受講修了者による教育訓練への評価状況、受講後の職務内容変化等の処遇改善の状況、一定期間内でのキャリアアップ成果やその事例、在籍・採用企業の側の評価等)

5. 教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法

1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法 各科目のシラバスに定める評価方法に基づき評価を行う。

(通信制講座の場合)

スクーリングの実施場所、時期、期間・回数

専門実践教育訓練明示書

6. 受講効果の把握方法																										
(1)受講認定基準 (6ヶ月ごとの出席率・定期試験、進級試験等の具体的基準)	当該科目に必要な時間数以上を受講していることを確認するとともに、筆記試験、実技試験(OSCE)及び各種実習等により評価を行う。																									
(2)受講認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法	ペーパーテスト及び演習																									
(3)修了認定基準 (出席率・修了認定試験等の具体的な基準)	独自科目ごとに実施する試験では60点以上で科目の合格とする。また、特定行為に係る看護師の研修制度における共通科目、区別科目では科目ごとに筆記試験を行い60点以上を合格とする。臨床能力評価(OSCE)及び特定行為の実習では観察評価を行い、ABCD評価でC以上を合格とする。																									
(4)修了認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法	卒業単位を満たし卒業試験合格																									
7. 受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法																										
(1)受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法	指導教員との面談だけではなく、電話やメールを活用した助言、指導を行っている。																									
(2)受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 (例:資格取得関連情報や資格関連職種の求人情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況)	i : 在職者が資格取得のために受講するケースが多く、担当教員が資格に関する情報やアドバイスなどサポートを行う。 ii : 実習施設として実習を行った医療機関への就職もみられるが、キャリアサポートセンターにて就職に必要な情報や面接の指導を行う。																									
8. その他の事項																										
指定教育訓練実施者名 及び代表者名	(代表者名: 理事長 石崎 雄司) 学校法人 東北文化学園大学																									
住所及び連絡先	宮城県仙台市青葉区国見6丁目45番1号 TEL 022-233-6116																									
施設名称及び施設長名	東北文化学園大学大学院 (施設長: 学長 加賀谷 豊)																									
住所及び連絡先	宮城県仙台市青葉区国見6丁目45番1号 TEL 022-233-6116																									
苦情受付者	氏名 村上 秀樹 所属 学生課																									
連絡先	TEL 022-233-6116																									
連絡先	連絡先 TEL 022-233-6116																									
専門実践教育訓練経費 支払い方法	<table border="1"> <tr> <td>1. 専門実践教育訓練給付金の対象となる経費(①+②)</td> <td>2,200,000 円</td> </tr> <tr> <td>① 入学料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合には その差引き後の税込額とすること。)</td> <td>200,000 円</td> </tr> <tr> <td>② 受講料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合には その差引き後の税込額とすること。)</td> <td> <table border="1"> <tr> <td>第1期 500,000 円</td> </tr> <tr> <td>第2期 500,000 円</td> </tr> <tr> <td>第3期 500,000 円</td> </tr> <tr> <td>第4期 500,000 円</td> </tr> <tr> <td>第5期 円</td> </tr> <tr> <td>第6期 円</td> </tr> <tr> <td>(うち、必須教材費 円)</td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td>2. 専門実践教育訓練給付金の対象外となる経費(①+②+③+④)</td> <td>649,170 円</td> </tr> <tr> <td>① 任意の教材費(税込額)</td> <td>49,170 円</td> </tr> <tr> <td>② 実習等に伴う交通費・宿泊費(税込額)</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>③ 施設維持費(税込額)</td> <td>600,000 円</td> </tr> <tr> <td>④ その他(法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代) (税込額)</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>3. 総額 (1+2) (税込額)</td> <td>2,849,170 円</td> </tr> </table>	1. 専門実践教育訓練給付金の対象となる経費(①+②)	2,200,000 円	① 入学料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合には その差引き後の税込額とすること。)	200,000 円	② 受講料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合には その差引き後の税込額とすること。)	<table border="1"> <tr> <td>第1期 500,000 円</td> </tr> <tr> <td>第2期 500,000 円</td> </tr> <tr> <td>第3期 500,000 円</td> </tr> <tr> <td>第4期 500,000 円</td> </tr> <tr> <td>第5期 円</td> </tr> <tr> <td>第6期 円</td> </tr> <tr> <td>(うち、必須教材費 円)</td> </tr> </table>	第1期 500,000 円	第2期 500,000 円	第3期 500,000 円	第4期 500,000 円	第5期 円	第6期 円	(うち、必須教材費 円)	2. 専門実践教育訓練給付金の対象外となる経費(①+②+③+④)	649,170 円	① 任意の教材費(税込額)	49,170 円	② 実習等に伴う交通費・宿泊費(税込額)	円	③ 施設維持費(税込額)	600,000 円	④ その他(法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代) (税込額)	円	3. 総額 (1+2) (税込額)	2,849,170 円
1. 専門実践教育訓練給付金の対象となる経費(①+②)	2,200,000 円																									
① 入学料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合には その差引き後の税込額とすること。)	200,000 円																									
② 受講料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合には その差引き後の税込額とすること。)	<table border="1"> <tr> <td>第1期 500,000 円</td> </tr> <tr> <td>第2期 500,000 円</td> </tr> <tr> <td>第3期 500,000 円</td> </tr> <tr> <td>第4期 500,000 円</td> </tr> <tr> <td>第5期 円</td> </tr> <tr> <td>第6期 円</td> </tr> <tr> <td>(うち、必須教材費 円)</td> </tr> </table>	第1期 500,000 円	第2期 500,000 円	第3期 500,000 円	第4期 500,000 円	第5期 円	第6期 円	(うち、必須教材費 円)																		
第1期 500,000 円																										
第2期 500,000 円																										
第3期 500,000 円																										
第4期 500,000 円																										
第5期 円																										
第6期 円																										
(うち、必須教材費 円)																										
2. 専門実践教育訓練給付金の対象外となる経費(①+②+③+④)	649,170 円																									
① 任意の教材費(税込額)	49,170 円																									
② 実習等に伴う交通費・宿泊費(税込額)	円																									
③ 施設維持費(税込額)	600,000 円																									
④ その他(法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代) (税込額)	円																									
3. 総額 (1+2) (税込額)	2,849,170 円																									